

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内全域	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市が管理している市道道路照明について、必要な改修及び更新等を行う。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
公共街路灯の新設・更新により、その機能の維持・向上と、夜間の地域環境の向上が図られる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市内全域面積	Km <sup>2</sup>	187.57	187.57	187.57	187.57
対象指標 2						
活動指標 1	新設更新灯数	灯	45	85	40	14
活動指標 2						
成果指標 1	公共街路灯数	灯	3,788	3,837	3,238	3,238
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,493	7,083	21,000	13,760
正職員人件費 (B)		千円	2,405	4,688	2,347	1,564
総事業費 (A+B)		千円	5,898	11,771	23,347	15,324

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	道路照明設備点検事業により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の更新、撤去	老朽化した公共街路灯の更新に係る経費 13,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市が管理する河川及び調整池									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。 1) 法面補修工事、浚渫工事 2) 管理用道路補修工事 3) 調整池における防護柵補修など									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	26	26	27	27
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	4	8	6	3
活動指標 2						
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	3	3	1	3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,615	6,852	8,716	8,900
正職員人件費 (B)		千円	2,405	2,344	2,347	2,347
総事業費 (A+B)		千円	8,020	9,196	11,063	11,247

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	豊幌川床ざらい 中樹林集水路床ざらい 大麻排水機場遊水池床ざらい	豊幌川床ざらい 4,000千円 中樹林集水路床ざらい 2,400千円 大麻排水機場遊水池床ざらい 1,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心		戦略						
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
排水機場	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	排水機場数	箇所	18	18	19	19
対象指標 2						
活動指標 1	維持管理経費	千円	47,316	51,912	60,940	66,216
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	51,547	51,912	60,940	66,216
正職員人件費 (B)		千円	4,810	4,688	4,694	4,693
総事業費 (A+B)		千円	56,357	56,600	65,634	70,909

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	排水機場運転のための燃料、電気料金 排水機場小規模修繕 試験運転、月次点検等の日常管理業務委託料 緊急運転委託料 自家用電気工作物、燃料タンク、天井クレーン等、法令点検委託	燃料費（A重油） 1,539千円 電気料金 4,791千円 排水機場小規模修繕 2,000千円 試験運転、月次点検等の日常管理業務委託料 46,000千円 緊急運転委託料 5,000千円 自家用電気工作物保安管理委託 1,058千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	河川防災ステーション
手段（事務事業の内容、やり方）	河川防災ステーションの維持・管理を行う
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開設日数	日	308	307	308	308
活動指標 2						
成果指標 1	不具合件数	件数	3	0	3	0
成果指標 2	利用者数	人	70,921	74,877	70,921	73,054
事業費 (A)		千円	17,266	17,387	18,747	20,175
正職員人件費 (B)		千円	4,810	4,688	4,694	4,693
総事業費 (A+B)		千円	22,076	22,075	23,441	24,868

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別河川防災ステーションの維持課管理	燃料費 : 1,880千円 電気料金 : 3,347千円 修繕費 : 250千円 委託費 : 14,110千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	維持	増加
					○
		維持			
		低下			

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成27年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
同計画に基づき耐震化を促進するために民間住宅の所有者に対して無料耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	1,390	1,390	1,390	1,390
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	330	1,800	1,800
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	1	3	5	0
成果指標 1	補助利用率	%	0	18.3	100	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	0	2	15	0
事業費 (A)		千円	0	330	1,800	1,800
正職員人件費 (B)		千円	6,012	4,688	5,477	5,475
総事業費 (A+B)		千円	6,012	5,018	7,277	7,275

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>無料耐震診断</li> <li>専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事に対して補助金を支出</li> </ul>	耐震診断・耐震改修への補助 1,800千円（半分は国費による交付金）

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市営住宅									
手段（事務事業の内容、やり方）									
新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。 H26～H27 B棟建設，H27 集会所建設，H28～H29 C棟建設 H30～H31 D棟建設，H32～H33 E棟建設，H34～H35 F棟建設									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
新栄団地の建替を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	1,223	1,263	1,219	1,267
対象指標 2						
活動指標 1	建設戸数	戸	0	48	0	48
活動指標 2	除却戸数	戸	0	8	44	0
成果指標 1	住戸改善率	%	16.1	19.4	20.1	23.1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	265,726	622,726	352,325	902,955
正職員人件費 (B)		千円	8,016	7,032	7,824	7,040
総事業費 (A+B)		千円	273,742	629,758	360,149	909,995

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>新栄団地C棟実施設計委託</li> <li>新栄団地B棟建設工事（建築工事・各種設備工事）</li> <li>【H26-H27継続事業】</li> <li>新栄団地集会所建設工事（建築工事・各種設備工事）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新栄団地C棟実施設計委託 29,200千円</li> <li>新栄団地B棟建設工事 692,698千円</li> <li>新栄団地集会所建設工事 155,135千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別の顔づくり事業（街路事業等）

顔づくり推進室都心整備課 都心整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	都心地区（野幌駅周辺地区）
手段（事務事業の内容、やり方）	・街路事業等を活用した道路整備を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	・野幌駅を中心とした幹線道路網や歩行者ネットワークの整備及び交通バリアフリー化等により、安全・円滑・快適な道路網が形成される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	都心地区の面積	ha	240	240	240	240
対象指標 2						
活動指標 1	道路整備延長	km	0.17	0.35	0.34	0.34
活動指標 2						
成果指標 1	事業進捗率（累計）	%	5	15	21	24
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	209,250	352,087	213,126	205,089
正職員人件費 (B)		千円	60,120	58,598	58,680	58,665
総事業費 (A+B)		千円	269,370	410,685	271,806	263,754

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>野幌駅南通（1工区）の整備工事</li> <li>野幌駅南通（2工区）の物件調査</li> <li>天徳寺グリーンモールの整備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野幌駅南通（1工区）の整備工事等 108,507千円</li> <li>野幌駅南通（2工区）の物件調査等 50,000千円</li> <li>天徳寺グリーンモールの整備工事等 41,800千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性			減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上	○	
見直し			維持		
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業） 顔づくり推進室都心開発課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいべつづくり				
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上				
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成36年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
土地区画整理事業施行地区	
手段（事務事業の内容、やり方）	
土地区画整理事業により公共施設等を整備するとともに、宅地の利用増進を図る。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道高架と併せ、土地区画整理事業により南北一体化した市街地整備を図る。</li> <li>・土地区画整理事業により宅地を再編し土地の利用増進を図る。</li> </ul>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施行地区の面積	ha	10.6	10.6	10.6	10.6
対象指標 2						
活動指標 1	仮換地指定進捗率（累計）	%	64	69	87	100
活動指標 2	物件移転進捗率（累計）	%	42	62	82	95
成果指標 1	事業進捗率（累計）	%	34	51	73	86
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	789,245	1,309,181	1,284,544	1,108,442
正職員人件費 (B)		千円	80,160	78,130	78,240	78,220
総事業費 (A+B)		千円	869,405	1,387,311	1,362,784	1,186,662

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉄西線・8丁目通・旭通・野幌駅南通整備工事</li> <li>○ 物件補償</li> <li>○ 物件調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路等工事費 637,803千円</li> <li>○ 物件補償費 402,756千円</li> <li>○ 物件調査等委託費 61,500千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：江別の顔づくり事業（商業等活性化事業）

顔づくり推進室都心整備課参事（活性化事業推進）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌駅周辺地域 「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。</li> <li>・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10（事業費30万円以上のもの）を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	野幌駅周辺の面積	ha	8	8	8	8
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	11	12	10	10
成果指標1	活性化活動拠点の利用者数	人	8,324	5,680	5,000	0
成果指標2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	55,600	59,800	52,800	50,300
事業費 (A)		千円	1,169	1,978	1,472	368
正職員人件費 (B)		千円	20,040	19,533	19,560	19,555
総事業費 (A+B)		千円	21,209	21,511	21,032	19,923

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助	江別の顔づくり支援促進事業補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	事業費の減少は活性化活動拠点（ほっとワールドのっぽ）の取壊しに伴う維持負担金が皆減したため。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					
新規				○	
休止 廃止 その他					

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公園・緑地									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。</li> <li>平成27年度より、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園・緑地とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	公園緑地数	箇所	228	228	229	230
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	134,342	142,279	149,498	153,502
活動指標 2						
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	176,703	192,621	195,789	218,263
正職員人件費 (B)		千円	6,413	13,673	13,692	15,253
総事業費 (A+B)		千円	183,116	206,294	209,481	233,516

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による管理運営</li> <li>公園施設長寿命化計画に基づく遊具改築</li> <li>遊具等の公園施設修繕</li> <li>樹木剪定（危険木、高木）他</li> <li>公園砂場砂入替、公園ベンチ及び外柵改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般委託料 153,502千円</li> <li>一般工事費 26,000千円</li> <li>施設等修繕費 10,000千円</li> <li>維持補修関係委託料 17,000千円</li> <li>維持補修関係工事費 10,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				○

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民参加による再整備公園									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設長寿命化計画に基づき、再整備が必要な公園の全面改修整備を実施する。</li> <li>整備内容については地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。</li> <li>公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	再整備公園数	カ所	1	0	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	ワークショップ開催数	回	0	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	累計整備公園数	カ所	10	10	11	12
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	31,106	900	9,824	39,626
正職員人件費 (B)		千円	3,206	2,344	7,824	6,258
総事業費 (A+B)		千円	34,312	3,244	17,648	45,884

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>若葉公園再整備工事（大麻新町） 面積：約0.3ha 遊具更新、バリアフリー化等</li> <li>実施設計委託費、ワークショップ運営費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般工事費 37,000千円</li> <li>一般委託料 2,600千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：町名板再整備事業

区画整理指導課 区画整理指導係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 来訪者</li> </ul>	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付</li> <li>2. 道路管理者及び公安委員会の協議後、市街化区域内（周辺部を含む）の定周期信号機に町名板を設置</li> </ol>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民及び市内在来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市民	人	121,385	120,802	120,802	120,335
対象指標 2						
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	28	143	337	130
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	7	6	5	4
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	20	15	15	12
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,698	3,565	3,207	1,872
正職員人件費 (B)		千円	2,405	1,563	2,738	2,738
総事業費 (A+B)		千円	5,103	5,128	5,945	4,610

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 街区町名板                      ~ 住民及び来訪者の利便性を図る                      ・ 市民要望による街区町名板の貼付                      ・ 貼付個所現況調査及び貼付意向確認、貼付</li> <li>2. 信号機型町名板                      ~ 住民及び来訪者への案内向上を図る                      ・ 幹線道路等の信号柱に信号機型町名板を貼付</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街区町名板製作費等 290千円</li> <li>・ 町名板貼付意向調査郵便代 82千円</li> <li>・ 街区町名板設置委託費 97千円</li> <li>・ 街区町名板現況調査委託費 172千円</li> <li>・ 信号機型町名板設置委託費 1231千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	向上			
	維持	○		
	低下			
	改革方向性（成果）			

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
団地集会所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
団地集会所の維持・管理に要する経費	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
集会所利用者が安心して利用できる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						
活動指標 1	利用可能日数	日	310	306	308	308
活動指標 2						
成果指標 1	集会所使用件数	件	619	547	700	600
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,774	2,697	2,963	2,818
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	3,576	3,478	3,745	3,600

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・ 団地集会所を維持管理する	・ 集会所管理人報酬 1,800千円 ・ 集会所燃料費 156千円 ・ 集会所光熱水費 600千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅入居者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く。）。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	1,060	1,018	1,050	1,050
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	2,187	2,081	2,140	2,140
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	479	625	500	600
活動指標 2						
成果指標 1	入居率	%	89.1	85.5	88.2	88.2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	41,598	43,332	45,605	46,745
正職員人件費 (B)		千円	13,627	13,282	13,301	13,297
総事業費 (A+B)		千円	55,225	56,614	58,906	60,042

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の小規模修繕</li> <li>住宅設備の保守点検</li> <li>家賃の決定及び徴収・滞納整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の修繕費 21,000千円</li> <li>保守点検等の委託費 13,833千円</li> <li>ミスマッチ解消に係る移転補償金 342千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名： 弥生団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	1,223	1,263	1,219	1,267
対象指標 2						
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	24	0	55
活動指標 2	設備改修戸数	戸	0	0	0	0
成果指標 1	団地改善率	%	4.8	9.6	9.6	20.6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	69,772	0	0	15,300
正職員人件費 (B)		千円	781	0	0	782
総事業費 (A+B)		千円	70,553	0	0	16,082

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	弥生団地H棟屋上防水改修工事	弥生団地H棟屋上防水改修工事 15,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の道路</li> <li>・違反広告物</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。</li> <li>・広告主への除却指導（年数回）</li> <li>・違反広告物の除却（年4回）</li> <li>・石狩支庁への除却数の報告（年2回）</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	市内の国道・道道・市道実延長	km	878	878	878	878
対象指標2						
活動指標1	広告主への指導件数	件	19	5	20	10
活動指標2						
成果指標1	違反広告物の除却数	枚	2,444	1,227	1,500	1,500
成果指標2						
事業費 (A)		千円	1,363	1,001	1,372	1,329
正職員人件費 (B)		千円	4,008	2,344	2,347	1,564
総事業費 (A+B)		千円	5,371	3,345	3,719	2,893

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告主への除却指導</li> <li>・ 違反広告物の除却</li> <li>・ 石狩支庁への除却数の報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軍手等の消耗品 23千円</li> <li>・ 除却活動員の保険料 6千円</li> <li>・ 広告調査、除却委託経費 1,300千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
大麻市営駐車場	
手段（事務事業の内容、やり方）	
施設の管理運営を指定管理者に委託する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車削減を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	7,326	7,323	8,489	8,489
活動指標 2						
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	41,485	42,591	40,000	40,000
成果指標 2	苦情件数	件	0	0	0	0
事業費 (A)		千円	7,326	7,323	8,489	8,489
正職員人件費 (B)		千円	5,611	3,125	3,130	2,347
総事業費 (A+B)		千円	12,937	10,448	11,619	10,836

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営駐車場の運営</li> <li>施設の管理運営を指定管理者に委託する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 8,489千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止 その他				

事業名：自動車対策事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
放置自動車	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の道路パトロール及び市民の通報により撤去。</li> <li>・所有者が確認できない場合は、市の負担で行う。</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
放置自動車により生じる障害の除去	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	放置自動車台数	台	0	0	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	市の撤去した放置自動車数	台	0	0	3	3
活動指標 2	所有者が撤去した台数	台	0	0	0	0
成果指標 1	放置自動車撤去率	%	100	100	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	95	95
正職員人件費 (B)		千円	802	391	391	391
総事業費 (A+B)		千円	802	391	486	486

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・ 放置自動車の撤去	・ リサイクル料、搬送料 95千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：自治会排雪支援事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市では自治会が行う道路の排雪に対し、排雪用ダンプカー（運転手付き）と排雪用ロータリー車（運転手抜き）を半日以上以上の単位で年1回を限度に無料で貸し出しています。安全確保のため誘導員や雪を集める為のショベルローダーは自治会で用意します。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民の冬期間における道路の交通確保と置き雪解消。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	831	827	827	831
対象指標 2						
活動指標 1	排雪延長	km	335	339	339	339
活動指標 2						
成果指標 1	自治会排雪実施率	%	75	75	75	75
成果指標 2	自治会排雪実施自治会数	自治会	93	95	95	95
事業費 (A)		千円	161,014	226,281	173,828	179,181
正職員人件費 (B)		千円	1,603	1,563	1,565	7,040
総事業費 (A+B)		千円	162,617	227,844	175,393	186,221

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>排雪用ダンプトラック賃借料</li> <li>ロータリー除雪車賃借料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンプトラック、ロータリー除雪車賃借料 179,181千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
27年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	維持	増加
					○
		低下			

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市が指定する路線等について、10cm以上の降雪や地吹雪があった場合、朝7時までに歩車道の除雪作業が完了するよう委託業者の除雪車が出動します。また、市の指定する路線について2車線確保が困難な場合や、交差点の見とおし等が悪い場合運搬排雪を実施します。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民の冬期間における道路交通の確保を図り、行政と住民の連携により快適な住環境をつくる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	市道総延長	km	831	827	827	831
対象指標2						
活動指標1	除雪延長	km	726	727	727	727
活動指標2	排雪延長	km	123	123	123	123
成果指標1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	2	1	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	814,098	766,206	740,275	764,657
正職員人件費(B)		千円	15,230	15,235	14,866	19,555
<b>総事業費(A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>829,328</b>	<b>781,441</b>	<b>755,141</b>	<b>784,212</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪事業委託</li> <li>雪捨て場用地賃借</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪事業委託料 745,131千円</li> <li>雪捨て場用地賃借料 6,855千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤		戦略							
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト							
			プログラム							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	一般の通行に供されている私道
手段（事務事業の内容、やり方）	一般の通行に供されている私道の除雪で、自治会が行うものについて、市が定める基準額の2分の1以内を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	一般通行に供されている私道を除雪することで、市民の冬期間における道路交通を確保する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	一般の通行に供されている私道延長	km	1.81	1.7	1.7	1.65
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	739	773	935	1,109
活動指標 2						
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.81	1.7	1.7	1.65
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	740	773	935	1,109
正職員人件費 (B)		千円	401	391	391	782
総事業費 (A+B)		千円	1,141	1,164	1,326	1,891

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般の通行に供されている私道の除雪で、自治会が行うものについて、市が定める基準額の2分の1以内を補助する</li> <li>私道除雪補助金 10自治会 L=1.65km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私道除雪補助金 1,109千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市道
手段（事務事業の内容、やり方）	市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑止する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市道延長	km	831	827	827	831
対象指標 2						
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	142	238	140	170
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,653	4,647	4,800	4,800
正職員人件費 (B)		千円	802	781	782	782
総事業費 (A+B)		千円	5,455	5,428	5,582	5,582

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・不法投棄物の巡回、回収、運搬、分別の委託業務	・不法投棄対策委託業務 2,900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：江別駅跨線人道橋整備工事（駅周辺バリアフリー化）

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成27年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別駅跨線人道橋									
手段（事務事業の内容、やり方）									
JR江別駅と上江別地区を結んでいる「江別駅跨線人道橋」の架換えを行うため、予備設計、実施設計、下部工、工場製作、上部工、周辺環境整備の6項目を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
エレベーター設置などバリアフリーに対応した跨線人道橋の架換えを行うことで高齢者等の歩行者や自転車が安全で快適に通行できるようにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	整備対象人道橋数	橋	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	当該年度整備対象項目数	項目	2	1	1	1
活動指標2						
成果指標1	整備済み項目の割合【平成24年度からは「整備済み状況の割合」に変更】	%	50	50	83	100
成果指標2						
事業費 (A)		千円	115,286	231,398	554,400	60,000
正職員人件費 (B)		千円	7,615	8,203	7,433	3,129
総事業費 (A+B)		千円	122,901	239,601	561,833	63,129

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>架換えが完了した江別駅跨線人道橋の周辺（既存歩道までの取付道路および駐輪場）整備</li> <li>完成に伴う道路台帳の補正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取付道路および駐輪場整備工事費 59,350千円</li> <li>道路台帳補正委託費 500千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名： 道道整備関連用地取得事業

管理課 総務係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成25年度	終了年度	平成34年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
土地（道道接続部分）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用地内の土地や支障物件の評価</li> <li>・算定価格に基づく地権者との協議</li> <li>・地権者の同意に基づく用地取得</li> <li>・売買契約締結後の登記事務</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公共事業（道道と市道の接続部分）のために必要な土地を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	のべ対象地権者数	人	0	6	6	6
対象指標 2						
活動指標 1	交渉回数（年度ごと）	回	0	3	12	12
活動指標 2						
成果指標 1	のべ契約者数	人	0	2	5	6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	4,269	376	543
正職員人件費 (B)		千円	0	1,563	1,565	1,564
総事業費 (A+B)		千円	0	5,832	1,941	2,107

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用地内の土地や支障物件の評価</li> <li>・算定価格に基づく地権者との協議</li> <li>・地権者の同意に基づく用地取得</li> <li>・売買契約締結後の登記事務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地購入費 543千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				



事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
老朽化による施設の更新等の修繕工事	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	831	827	827	831
対象指標 2						
活動指標 1	実施延長	km	4.4	6.5	5.1	3.5
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	956	1,094	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	454,695	487,509	516,746	518,683
正職員人件費 (B)		千円	10,421	10,157	10,171	16,427
総事業費 (A+B)		千円	465,116	497,666	526,917	535,110

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事路線現況測量</li> <li>・路面凍上改修工事、道路再整備工事等</li> <li>・工栄6号道路改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 4,300千円</li> <li>・工事請負費 501,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
道路の損傷箇所の修繕・復旧対応	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	831	827	827	831
対象指標 2						
活動指標 1	市道管理延長	km	831	827	827	831
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	956	1,094	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	142,665	153,017	149,456	150,100
正職員人件費 (B)		千円	8,818	8,594	8,606	10,169
総事業費 (A+B)		千円	151,483	161,611	158,062	160,269

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面清掃委託</li> <li>道路草刈委託</li> <li>道路維持作業委託</li> <li>舗装補修工事</li> <li>原材料費（砂利、常温合材等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託費 45,000千円</li> <li>補修工事費 80,000千円</li> <li>原材料費 17,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
		向上	維持	低下

事業名：ロードヒーティング管理経費

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
路面融雪施設	
手段（事務事業の内容、やり方）	
冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	979.1	979.1	979.1	1,197.6
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m <sup>2</sup>	5,673.1	5,673.1	5,673.1	6,765.5
活動指標 1	巡回・点検回数	回	5	5	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	管理上の不具合件数	件	5	5	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	23,665	28,110	25,747	37,409
正職員人件費 (B)		千円	802	781	0	782
総事業費 (A+B)		千円	24,467	28,891	25,747	38,191

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロードヒーティング光熱費</li> <li>ロードヒーティング機器類施設修繕費</li> <li>ロードヒーティング点検委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロードヒーティング光熱費 34,700千円</li> <li>ロードヒーティング機器類施設修繕費 2,000千円</li> <li>ロードヒーティング点検委託 670千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				○
廃止 その他				

事業名：橋梁長寿命化修繕事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
橋梁（市道）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。</li> <li>・事業の進め方については、5年を目標に定期点検を実施し、工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
計画的な予防修繕による橋梁長寿命化を図ることで、修繕費用等を縮減する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	橋梁（市道）	橋	0	0	155	155
対象指標2	修繕が必要な橋梁数	橋	0	0	46	46
活動指標1	当該年度修繕対象橋梁数	橋	0	0	2	2
活動指標2						
成果指標1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	0	0	4.35	8.7
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	0	70,000
正職員人件費(B)		千円	0	0	0	3,911
総事業費(A+B)		千円	0	0	0	73,911

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁の定期点検</li> <li>・橋梁修繕工事の設計</li> <li>・橋梁修繕工事の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁定期点検委託費 37,000千円</li> <li>・修繕工事実施設計委託費 9,000千円</li> <li>・橋梁修繕工事費 24,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	道路施設全般
手段（事務事業の内容、やり方）	道路施設において、総点検を行い現状の状況を把握する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	今後老朽化する道路施設全般について、総点検を行い、落下、倒壊等の恐れのあるものは改修、修繕を図り第三者への被害を防止する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	道路施設数	箇所	0	0	0	210
対象指標 2	点検対象道路延長	km	0	0	0	247
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	0	0	0	10
活動指標 2	道路路面調査延長	km	0	0	0	0
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2	改修、修繕延長	km	0	0	0	0
事業費 (A)		千円	0	0	0	15,100
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	17,447

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	・ 橋梁点検（跨道橋、跨線橋）	・ 委託料 2,870千円 ・ 負担金補助金 12,230千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	備考：H25年度補正予算として27,700千円を計上していることから、コストは減少としている。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止 廃止 その他				

事業名：通学路安全対策事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
「江別市通学路交通安全プログラム」（H26年4月策定）に位置づけられた通学路（市道）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>「江別市通学路交通安全プログラム」に基づく合同点検の結果、安全対策の要望があった通学路について、整備・改修（ハード対策）を実施する。</li> <li>社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10）</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
合同点検の結果を受け、必要な整備・改修を行い、安全で快適な通学路を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標1	整備・改修が必要な通学路	km	0	0	0	0.3
対象指標2						
活動指標1	当該年度の整備・改修の対象通学路	km	0	0	0	0.3
活動指標2						
成果指標1	対策が完了した通学路の割合	%	0	0	0	100
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	0	50,000
正職員人件費(B)		千円	0	0	0	2,347
総事業費(A+B)		千円	0	0	0	52,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>元野幌182号道路の歩道拡幅（江別第二小学校指定の通学路）</li> <li>元野幌182号道路の車道オーバーレイ舗装</li> <li>道路改修に伴う道路台帳の補正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元野幌182号道路歩道拡幅工事 34,600千円</li> <li>元野幌182号道路車道オーバーレイ舗装工事 15,000千円</li> <li>道路台帳補正委託 400千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
27年度への改善方向性	平成26年4月に策定した「江別市通学路交通安全プログラム」による通学路合同点検の結果に基づき、歩道の整備・改修を実施し通学路の安全性を確保する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：道路橋梁再整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内の幹線道路（市道）
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面性状調査の結果、損傷度が高いと評価された路線について、路盤改良やオーバーレイ舗装等の再整備を実施する。</li> <li>社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10）</li> </ul>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	冬期間の凍上や老朽化等により、損傷した道路の修繕を行うことで、車両等の安全な通行環境を確保する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算	27年度予算
対象指標 1	再整備が必要な幹線道路	km	0	0	0	0.36
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の再整備の対象幹線道路	km	0	0	0	0.18
活動指標 2						
成果指標 1	再整備が完了した幹線道路の割合	%	0	0	0	50
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	41,900
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,956
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	43,856

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>現況の測量および在来舗装厚さ等の調査</li> <li>兵村9丁目通り車道の道路改良</li> <li>兵村9丁目通り歩道の道路改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現況の測量および在来舗装厚さ等の調査委託費 1,800千円</li> <li>兵村9丁目通り車道の道路改良工事費 38,200千円</li> <li>兵村9丁目通り歩道の道路改良工事費 1,947千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
27年度への改善方向性	冬期間の凍上や老朽化により損傷した市内幹線道路の再整備を行い、車両等の安全な通行環境を確保する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						